

第5学年1組 学級活動指導案

小川町立東小川小学校
指導者 小林 真知

1 議題「5の1チャレンジ集会をしよう」

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は明るく穏やかで、休み時間は友達と声をかけ合いながら過ごす姿がよく見られる。係活動でも、友達と協力して工夫しながら楽しんで活動している。

(略)

(2) 議題選定の理由

本議題は、これまで様々な行事を乗り越え、クラスでの集会を経験してきたにもかかわらず、自分から行動することが苦手だったり、「みんなで協力する」ことがうまくできなかったりする現状を改善するために「みんなで力を合わせて活動にチャレンジし、記念記録をつくろう」という児童の提案によるものである。

他に「5の1オリンピックをしよう」「2学期がんばったね集会をしよう」などがあったが、計画委員会において「集会をいくつかやってきたけれど、時間が間に合わなかったり、どこか他人事だったりして“クラスみんなが協力して”という雰囲気がなかった。そこで“みんなで力を合わせてできた”という思い出をつくって2学期をしめくりたい」という考えに基づき今回の議題を選定し、その後、全員で決定した。

話し合いでは、「どんな活動に挑戦するか」「みんなで達成するための工夫」の2点について、互いの意見を尊重し合いながら計画を立て、実践することを通して、自分から進んで行動したりクラスのために協力したりする態度を高めていきたい。そして、自分たちの力でよりよい学級をつくっていかうとする自治的能力や自主的、実践的な態度を高めていきたい。

3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級の生活をつくるための話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
11/21 (月) 休み時間 帰りの会	①議題を選定する。 ②議題を決定する。	・各提案について時期や扱う意図などを考慮して選定する。	【関心・意欲・態度】 ・よりよい学級づくりのために進んで議題を考えたり選んだりしている。 〈議題アンケート・観察〉
11/22 (火) 昼休み	③提案理由の発表者と提案理由を練る。	・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えるようにする。 ・選定した議題を全員に知らせ承認を得る。	

11/24 (木) 業間休み	①活動計画と学級会ノートを作成する。	・みんなが理解できるよう な提案理由になるよう に提案者に助言する。	【思考・判断・実践】 ①会を開くために話し 合わなければならない ことを理解している。 〈計画委員会活動計画〉 ②会の目的に合った意 見を考え、判断し、ノ ートに書くことができ る。 〈学級会ノート〉
11/28 (月) 朝の会	②提案理由を知る。 どんなチャレンジがいいか 考える。	・提案理由が伝わるよう に、特に大事な言葉は強 調し、他もはっきりゆっ くり説明するように助 言する。	
業間休み	③チャレンジの候補を出す。	・協力して取り組めるチャ レンジになるように助 言する。	
昼休み	④チャレンジを絞る。	・チャレンジの時間や準 備、能力的な面も考慮に 入れて絞るように助言 する。	
11/30 (水) 業間休み 帰りの会	⑤学級会の掲示物を作る。 ⑥学級会ノートに自分の考 えを記入する。	・大きく見やすい字で書く ように助言する。 ・決まっていることが理解 できるように必要に応 じて助言する。	
12/1 (木) 朝の会	⑦教師からの言葉等が書か れた学級会ノートを受け取 る。	・学級会ノートに励ましの 言葉を記入し、話合いの 意欲を高める。	
業間休み	⑧学級会の流れを確認する。		

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

- 5年1組の全員が進んで行動し、協力して取り組む「5の1チャレンジ集会」の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第 8 回 学級会 活動計画	
議題	5の1チャレンジ記録会をしよう
役割	司会 () () 黒板記録 () () ノート記録 () 提案者 () () ()
提案理由	5年1組は明るくて楽しいです。2学期は集会をやって男女の仲がよりよくなったり、声かけができるようになったりしました。 でも、友達に頼ってしまっていて自分からやらなかったり、自分勝手に行動したりする人もいました。 だから、一人一人が進んで行動し、協力できるクラスになるように、みんなで目標を立てて達成するチャレンジ集会を開きたいと考えて提案しました。
めあて	「一人一人が自分から行動」し、「みんなで協力して活動」するクラスになるような集会の計画を立てよう。
決まっていること	○やる日：12月9日(金) 6時間目 ○場所：体育館 ○時間：1時間 ○会の内容：始めの言葉(1分) チャレンジ(36分) 感想発表(1分×2人) 先生の話(2分) 終わりの言葉(1分) 感想記入(3分)

話合いの順序（時間）	気をつけること	準備
1. 始めの言葉 2. 計画委員の紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由とめあての確認 5. 決まっていることの確認 6. 話合い ①何にチャレンジするか （13 分） ②みんなで達成するための工夫（18 分） 7. 決まったことの発表 8. 振り返り 9. 先生の話 10. 終わりの言葉	- 大きな声ではっきり言う。 - 自分のめあてを言って自己紹介する。 - 大きな声で分かりやすく、キーワードを示しながら説明する。 - 掲示物を指しながら説明する。 - いろいろな人を指名する。 - 賛成意見を中心に発表してもらう。 - 長縄 8 の字跳び ・ 人文字 - 巨大つる ・ 巨大絵 ・ 組み立て体操の中から 1 つ決めることを伝える。 - チャレンジの時間は 35 分と伝える。 - いくつ決まってもいいことを伝える。 - 時間内に準備できるものとするのを伝える。 - 準備に時間がかかるものと、当日だけやればよいものとに分けて意見を掲示する。 - はっきり言う。 - 静かにノートに記入する。 - 静かに聞く。 - はっきり大きく明るく言う。	- 黒板の掲示物 - 提案理由やめあての紙 - 学級会ノート

（３）教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1. 始めの言葉 2. 計画委員の紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由とめあての確認	- 大きな声で堂々と発表できるように事前に指導する。 - 自分のめあてが言えるように事前に指導する。 - 提案者の思いと提案理由の大事なポイントを全員が理解できるように事前に指導する。	
紙芝居のようにして提案理由を発表させた。 		提案理由や決まっていることなどは黒板の隣に掲示したので黒板が広く使えた。 大事な言葉にはサイドラインをつけて強調した。

5. 決まっていることの確認 6. 話し合い ①何にチャレンジするか ②みんなで達成するための工夫	・ 35 分間の中での活動を考えることを強調するように助言する。 ・ ①については、事前に「出し合った」内容を「比べる」ところから始めることを確認するように助言する。 ・ 長縄 8 の字跳び ・ 人文字 ・ 巨大つる ・ 巨大絵 ・ 組み立て体操 活動の内容が共通理解できるように、例の写真を数日前から教室に掲示しておいた。また、それぞれの活動の特性についても確認をしておいた。 の中から 1 つ決めることを伝えるように助言する。 ・ ②については「承認の話し合い」だと伝えるように助言する。 ・ 応援言葉を決める ・ ハイタッチ ・ 全員に〇〇賞をあげる ・ 記録を表にする など ・ 理由をつけて発表できるように助言する。 ・ 提案理由を意識した発表ができるように助言する。 ・ 「〇〇さんと同じで、(似ていて)」や「〇〇さんとは少し違って」など友達の意見にふれながら、自分の意見を発表できるように助言する。 ・ 反対意見を発表した場合、必ず賛成意見も発表するように助言する。 ・ 自治的活動の範囲を超えそうな場合は、必要に応じて助言する。 ・ 発表者が偏らず、全員で話し合いが進むように助言する。 ・ 少数意見も大切に、納得を得てから決定するように助言する。 ・ 自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど折り合いをつけることも必要であることについて助言する。	・ 提案理由をふまえて集会の目的に合った内容や工夫、係について発言している。 【観察・学級会ノート】
---	---	---

話し合いが進まない時の手立て

<計画委員>

- ・意見が出なくて困っていることを伝え、話し合いへの協力を頼むように助言する。
- ・「注目サイン」を使うなどして、意見を集める視点を明確にするように助言する。
- ・自分の意見を固めるために、2～4人で相談する時間を設けるように助言する。
(必要の要請を受けて)
- ・発表するときは「個人の意見」として発表するように助言する。

<発表者>

- ・学級会ノートに書いた自分の考えを発表するように助言する。
- ・考えを整理する時間を計画委員に要求してよいことを助言する。
- ・友達の見解に共感して寄り添ったり、賛成できないと思ったりしたことを発表すればよいことを助言する。

注目サイン



黒板が見やすい隊形に座る。



7. 決まったことの発表

8. ふり返り

9. 先生の話

10. 終わりの言葉

- ・「前回の自分」と比べて「今回の自分のがんばり」がふり返れるようにする。
- ・今回の話し合いのよかった点や意欲的に参加した児童、建設的な意見を発表した児童を称賛する。
- ・後の課題を伝える。
- ・計画委員へはねぎらいの言葉をかけ、全体へは事後の活動への意欲が高まるように言葉をかける。

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
12月 5日（月） 朝自習 休み時間	- 決まったことを学級会コーナーに掲示する。 - どんな係が必要かを出し合う。 - 係分担決め	協力して活動できるように助言する。	【関心・意欲・態度】 - 準備や集会に進んで取り組もうとしている。（観察） 【思考・判断・実践】 - 集会の目的を考え、友達と協力し、責任をもって準備したり参加したりしている。（観察、ふり返りカード、感想）
6日（火）～ 16日（金） 休み時間	係ごとの準備	- 準備の進み具合を把握して声をかける。 - 協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。 - 自分の態度をふり返り、今後の生活づくりに生かせるようにするとともに、友達と協力して集会をひらいた達成感についてもふれるように助言する。 - 児童の感想を集約し、達成度や今後の課題を掲示する。	
16日（金） 6校時	「5の1チャレンジ集会」 - 集会終了後、感想記入		